

「いわき市保幼小連携コアカリキュラム」の活用方法例

＜保育所・幼稚園からの視点＞

- 保育課程・教育課程の編成に生かす。
- 指導計画作成の参考とする。
- 保育・教育の振り返りに生かす。
- 日々の保育・教育改善に向けた取組に生かす。
- 年長児クラス担任向けの研修資料に活用する。

＜小学校からの視点＞

- 小学校1年生を中心とした教育課程の編成に生かす。
  - ・ スタートカリキュラムの参考資料
  - ・ 入学してくる児童の姿のイメージ化並びに状態の理解のための資料
  - ・ 小学校入門期に小学校側が引き継ぐべき内容理解のための資料
- 保護者理解に生かす。
  - ・ 子どもの成長や学びの足跡を共通理解するための視点
  - ・ 小学校入学にあたっての不安感の軽減（10の姿→スタートカリキュラム）
- 全小学校への配布・周知を行い、保幼小の円滑な接続を推進することで、いわゆる「小1プロブレム」等の解消を図る。
- 保護者や地域住民にも広く発信し、折にふれて理解を深めてもらう。
- 記載内容を日案・週案の作成に反映させ、指導と評価の一体化を図る。